

事務事業名	指定ごみ袋制度運営事業	担当	市民生活部 環境課 ごみ減量係	
政策名	5 「環境づくり」～安全なまちアップ!～	施策名	3	循環型社会の構築
成果指標	名称	単位	5年度実績	
	指定ごみ袋製造委託料	千円	36,273	
	ごみ袋販売枚数(大・中・小)	箱	8,771	
	指定ごみ袋販売収入	千円	120,456	
事業概要	・平成26年4月より一般家庭から排出されるもえるごみを黄色の指定袋(大45リットル:50円/枚・中30リットル:30円/枚・小20リットル:20円/枚)で有料化することにより、ごみ処理に係る費用負担の公平化と費用軽減意識を高揚し、ごみ排出量の抑制を図る。また、ボランティアによる収集用にピンクの指定袋を作成し、無料配布する。 ・業務委託により、製造、保管、在庫管理及び取扱店への配送を行う。			
5年度実績・成果・課題	・令和5年度「もえるごみ」16,646.73t(前年-2.63%) ・令和5年度「一人当たりのごみの量」751g(前年比-26g) ・平成26年度に指定ごみ袋によるもえるごみの有料化により、もえるごみが対前年比約13%減少したが、平成27年度以降増加傾向にあった。しかし、令和4年度から、家庭系もえるごみが減少傾向へと転換した。 ・指定ごみ袋製造等契約期間が1年と短いことから、毎年受託業者の変更があり得る。 ・市民の生活スタイルやもえるごみの減量化に伴い、10リットルサイズなどの検討も必要である。			
今後の方向性と具体策	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 【具体的な改善案】 ・座談会や広報等により、家庭系ごみの減量化・資源化のための啓発を行っていく。 ・指定ごみ袋製造等契約期間を複数年にするのを検討する。但し、原材料等(原油)の高騰など影響を受けやすいため、毎年市場の動向を注視していく必要がある。 ・市民生活のスタイルの変化や要望に対応していくため、販売店へのアンケートなどを実施し、10リットルサイズの袋の必要性などの今後のごみ袋の製造の在り方など検討の参考にす。			